



# 第56回飛騨地区体育大会

第56回飛騨地区体育大会

体協事務局の人事異動

体協職員の藤下弘毅氏が3月31日付で退職されました。藤下氏は、教職退職後より3年間勤務されたが、持ち前の人脈の広さと教員時代の経験を生かして体育協会の行事等に尽力され、頼もしい存在でした。誠に御苦労さまでした。

新たに、岩井伸一氏が体協職員に就任致しました。岩井氏は、高山消防署を退職されこの4月1日から体協の運営、施設管理に勤務しています。スポーツ施設での安全対策に大変心強い存在であり、経験を発揮されることが期待できます。

## 「ぎふ清流国体」ハンドボール強化に助つ人

### 高山信用金庫が協力

平成二十四年に開かれる「ぎふ清流国体」高山会場となるハンドボール地元選手のレベルアップを図るため、指導者として実績のある愛知県出身の山川由加さん（33）を高山信用金庫様が採用していただきました。今後学校など指導者として派遣する。山川さんは高校時代、インターハイ、国体で優勝、また世

界選手権の代表としても活躍された。

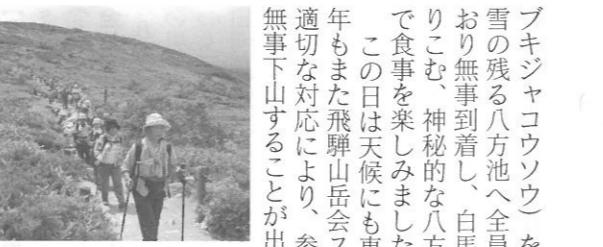


# この人に こんにちは

今回は高山市ソフトテニス協会の現役選手として活躍されている角竹邦雄さんを訪ねました。角竹さんは、中学生(日枝中)の頃より県下テニス界で頭角を現し、昭和40年の岐阜国体強化選手であり、往年の名選手でもある。

- ・テニスはいつから始めましたか。
  - ・今日までの競技経験についてお聞かせ下さい。
  - ・競技生活で一番印象に残ることは。
  - ・今後の競技生活についての抱負は、
  - ・市の協会に対するご希望などありましたらお聞かせください。
  - ・中学生からです。当時、日枝中だけにテニスコートがあり、部活もありましたので入部し始めました。
  - ・日枝中学校、県岐商、中央大学と続けていたが、高山に帰り、家業を継いでから中断、6年前より再び始めた競技活動や協会の仕事をさせて頂いています。
  - ・日枝中3年の全中県大会で優勝した事です。高山で最初だった事と以後県国体強化選手になりました。
  - ・テニスは高齢でも出来るスポーツなので頑張って続けると共に、各種の大会にも積極的に出たいです。
  - ・市の協会というより市当局に対し、中山公園コートのオムニコート化を早期に実現して頂きたい。又、テニス経験のある人、無い人等、沢山の人達が協会に入り育てていくコート、山に沿って作成して

〔筆者の所感〕 普段は料亭「角正」の御主人様の角竹さんであるが、ご子息が家業を継がれたのを機に競技に力ムバツクされうれしい限りである。中・高生時の角竹さんは、抜群の運動技能の持ち主であつただけに、今後の活躍が大いに期待できる。張り切り過ぎてケガの無いよう頑張って下さい。



第25回市民登山開催される

**第25回市民登山開催される**

「キジヤコウソウ」を楽しみ残雪の残る八方池へ全員が予定どおり無事到着し、白馬三山が映りこむ、神秘的な八方池の周辺で食事を楽しみました。

この日は天候にも恵まれ、今年もまた飛騨山岳会スタッフの適切な対応により、参加者全員無事下山することが出来ました。

帰りは

数々の歓喜と感動を与えた北京オリンピックが終わつた。開催前の聖火リレーやチケット騒動等で不安視されたが成功裏に終わり、素晴らしいオリンピックであつた。▲日本選手の中で優勝者の水泳の北島、レスリングの吉田、伊調馨、柔道の内柴、谷本、上野選手は、共にアテネに続いての栄光であり、その努力と精進には敬服の限りである。▲しかし、これら王者を讃える一方で、アテネ以後に後継選手が生まれなかつたという課題も感じられる。▲オリンピックに出場したアスリート達は、幼少よりその競技を始め確實に育成された選手達で、一流のアスリートは、幼少からの育成が基本となる。▲高山市からのオリンピック選手は、シドニーの山下選手以後は出場者は出でないが、将来に向けては、陸上の小林君、レスリングの洞口君、水泳の安江君、スキーオの長谷川君などが有望であり、今後の活躍を期待するものである。

# Fair Play

数々の歓喜と感動を与えた北京オリンピックが終わつた。開催前の聖火リレーやチケット騒動等で不安視されたが成功裏に終わり、素晴らしいオリンピックであつた。▲日本選手の中で優勝者の水泳の北島、レスリングの吉田、伊調馨、柔道の内柴、谷本、上野選手は、共にアテネに続いての栄光であり、その努力と精進には敬服の限りである。▲しかし、これら王者を讃える一方で、アテネ以後に後継選手が生まれなかつたという課題も感じられる。▲オリンピックに出場したアスリート達は、幼少よりその競技を始め確實に育成された選手達で、一流のアスリートは、幼少からの育成が基本となる。▲高山市からのオリンピック選手は、シドニーの山下選手以後は出場者は出でないが、将来に向けては、陸上の小林君、レスリングの洞口君、水泳の安江君、スキーオの長谷川君などが有望であり、今後の活躍を期待するものである。

平成20年度 財団法人 高山市体育協会事業概要

月 日	事 業 名	会 場 等
7月13日(日)	56回飛騨地区体育大会	飛騨地区一円
7月26日(土)	第25回市民登山	八方尾根
9月21日(日)	第2回岐阜県民スポーツ大会	岐阜地区
9月28日(日)	市民スポーツフェスティバル	ピッグアリーナ他
10月19日(日)	第4回市民駅伝大会	一之宮町内
11月23日(日)	第32回市民健康マラソン	中山陸上競技場
1月21日(水)	体育協会表彰式、新年総会	
2月中旬	第2回県民スポーツ大会冬季大会	高山市
年間を通して	市指定体育施設の管理(14施設)	
	トレーニングルーム利用者講習会・各種スポーツ教室の開催	
	市民体育大会(各種目団体の事業計画に盛り込んで実施)	
	各種委員会の開催(総務・財務・事業・強化・広報)	
	「体協たかやま」の発行(年3回)	
	理事会・評議員会の開催	
	各加盟団体との共催事業の開催	

平成20年度 一般会計及び指定管理事業特別会計収支予算総括表

## 【収入の部】

(单位:千巴)

【支出の部】

(单位:千円)

【決算の目】				(単位：千円)	【収支の目】				(単位：千円)
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	備 考	科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	備 考
基本財産運用収入	480	480	0	基本財産定期預金利息	管 理 費	1,662	1,662	0	給料手当、会議費、旅費交通費等
会 費 収 入	4,000	4,000	0	会員会費、賛助会費	事 業 費	6,300	6,300	0	県体派遣費、地区体派遣費等
自主事業収入	5,021	0	5,021	市民健康マラソン・市民登山等	自 主 事 業 費	5,021	0	5,021	市民体育大会費等
指定管理等収入	79,689	0	79,689	指定管理料、体育施設使用料等	指 定 管 理 事 業 費	77,357	0	77,357	給料手当、福利厚生費等
雜 収 入	122	122	0	受取利息、飛騨体協事務収入、雜入	租 稅 公 課	1,720	0	1,720	
特定預金取崩収入	255	0	255	退職給与引当預金取崩	繰 入 金 支 出	0	0	3,800	特別会計から一般会計へ
繰 入 金 収 入	0	3,800	0	特別会計から一般会計へ(内部取引消去)	特 定 預 金 支 出	500	500	0	合併記念事業積立
繰 越 金	9,310	310	9,000		予 備 費	3,817	250	3,567	
計	98,877	8,712	93,965		計	96,377	8,712	91,465	
					次期繰越収支差額	2,500	0	2,500	

平成19年度財団法人高山市体育協会一般会計及び指定管理事業等特別会計収支決算(概要)

## 平成19年度 収支計算書総括表

## 平成19年度 決算計算書総括表 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(单位: 例)

科 目	合 計	一般会計	指定管理事業等特別会計	備	考
I. 収入の部					
基本財産運用収入	507,592	507,592		基本財産定期予算利子	
会費収入	4,653,000	4,653,000		会員・賛助会員会費等	
自主事業収入	4,888,012		4,888,012	市民健康マラソン、市民登山	
指定管理事業収入	82,751,124		82,751,124	指定管理料、体育施設使用料	
雑収入	125,372	125,372		飛騨地区体育協会事務収入	
特定預金取崩収入	330,570		330,570	退職給与引当預金取崩収入	
繰入金収入	0	2,238,000		特別会計から一般会計への繰入金収入(内部取引消去)	
<b>当期収入合計</b>	<b>93,255,670</b>	<b>7,523,964</b>	<b>87,969,706</b>		
II. 支出の部					
管理費	1,590,555	1,590,555		会議費、旅費交通費、通信運搬費他	
事業費	6,361,978	6,361,978		県民スポーツ大会派遣費、強化費他	
自主事業費	4,124,683		4,124,683	市民健康マラソン、市民登山他	
指定管理事業費	77,558,309		77,558,309	職員人件費、事務費、管理費他	
租税公課	3,480,900		3,480,900	法人税、法人市県民税、法人事業税	
繰入金支出	2,238,000		2,238,000	特別会計から一般会計への繰入金支出(内部取引消去)	
特定預金支出	500,000	500,000		合併記念事業	
予備費	0	0	0		
<b>当期支出合計</b>	<b>93,616,425</b>	<b>8,452,533</b>	<b>87,401,892</b>		
<b>当期収支差額</b>	<b>△360,755</b>	<b>△928,569</b>	<b>567,814</b>		
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>12,025,882</b>	<b>1,611,819</b>	<b>10,414,063</b>		
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>11,665,127</b>	<b>683,250</b>	<b>10,981,877</b>		